

1. 作業前の確認

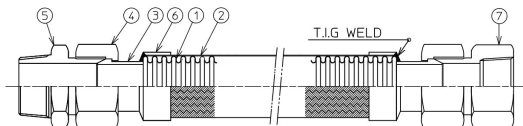


表1 部品表

品番	部品名	材質
①	ベローズ	SUS304
②	ブレード	SUS304
③	スリーブ	SS400 or SUS304
④	袋ナット	SS400 or SUS304
⑤	オスニップル	SS400 or SUS304
⑥	ブレード押え	SS400 or SUS304
⑦	メスニップル	SS400 or SUS304

施工前に次の事項についてご確認下さい。

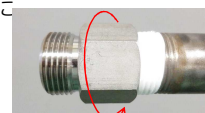
- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無いか

2. 配管への取り付け

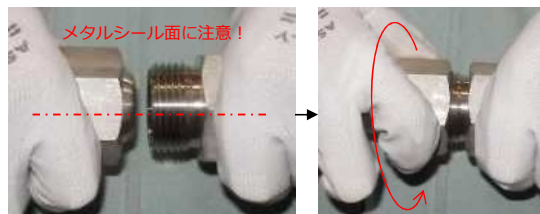
- 1) 品番⑥、⑦のニップルを製品から取り外し、P Tねじ部にシールテープを巻き付ける。
この時、メタルシール面は絶対に傷を付けない様注意して下さい。



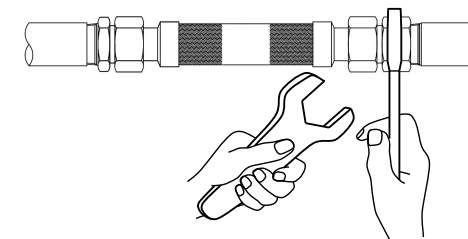
- 2) 配管側及び機器側のソケット又はネジ部に両ニップルをしっかりと捻じ込みます。



- 3) 片側を手締めで締め込み、他端も同様の手締めで仮取付します。
この時、メタルシール面は絶対に傷を付けない様注意して下さい。
また袋ナットはニップルに対して真っ直ぐ取り付けて下さい。



- 4) 最後にレンチでニップルを固定しながら袋ナットを締め付けます。トルクレンチを使用する場合は、下記の規定トルク値で締め込んで下さい。

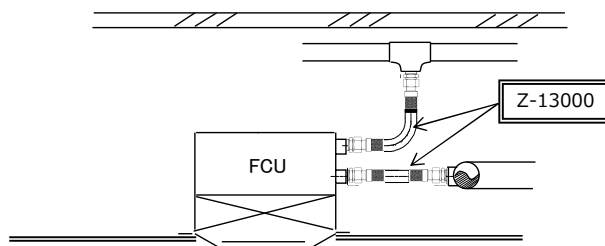


※トルクレンチを使用する場合の締め付けトルク値は、下表を参照下さい。

締め付トルク(目安)

口径	締め付トルク(N・m)
8A	55~65
10A	55~65
15A	60~75
20A	85~100
25A	110~120
32A	120~135
40A	145~160
50A	180~200

設置例



⚠ 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。その様な場合は適切な衝撃防止対策を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。
やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速(内径基準)が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- ステンレスに対して腐食性を有する流体については、ZTFシリーズ(フッ素樹脂製)をご使用下さい。
- 袋ナットの締め付けに際しては、フレキの振れを防止するため、必ずニップルをレンチで固定して下さい。